

令和3年度 第3回 第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会 議事録	
日 時	令和4年2月28日(月) 19時00分～20時40分
開催場所	オンライン開催
出席者	第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会委員 9人(資料1)
開催形態	公開(傍聴者1人)
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 第2期健康横浜21の最終評価報告書(修正案)について 4 その他 第2期最終評価・第3期計画策定スケジュールについて 5 閉 会
挨拶	(健康福祉局健康安全部 嘉代部長) 委員の皆様には市民の健康づくりの推進について、日頃から様々な形で御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。 今回はコロナの状況に加え、開催時間が遅めであることから、オンラインによる開催とした。今後の開催方法については、オンラインのメリット・デメリットと、その時々状況を踏まえて決めたい。 本日は、第2期健康横浜21の最終評価の報告書の修正案について御議論いただく。限られた時間ではあるが、活発な御議論をお願いしたい。
資料確認 事務案内	(事務局) これからの進行は豊福部会長にお願いする。 (豊福部会長) それでは進行を務める。議事に入る前に事務局に配布資料の確認をお願いする。 (事務局) 委員の皆様には、本日の資料は事前に郵送している。オンライン開催ではあるが、お顔を見ながら議事を進めたいと考えているため、会議中はカメラをオンにして、音声はミュートに設定するようお願いする。発言の際は、挙手または挙手ボタンで知らせるようお願いする。 資料について、本日の次第、資料1～資料5まで、全て揃っているか。不足の資料がある場合は、チャット等で知らせるようお願いする。 これからの進行は豊福部会長にお願いする。 (豊福部会長) 議事の第2期健康横浜21の最終評価報告書(修正案)について事務局から説明をお願いする。

議事	<p>第2期健康横浜21の最終評価報告書（修正案）について＜資料3～4＞事務局から資料3から4について説明</p>
	<p>（豊福部会長） 議論は章ごとに、時間を区切って進める。 まず大きな修正や、新たに書かれたところについて意見をいただく。挙手いただいたら指名するので、ミュートを解除し御発言ください。 まずは6ページ「評価の方法」の修正部分についていかがか。赤松委員いかがか。 （赤松委員） 妥当だと思う。他の委員はいかがか。 （豊福部会長） 後藤委員いかがか。 （後藤委員） 今回修正された評価方法で良いと思う。 （豊福部会長） 他の委員も評価の方法についてはこれで良いか。 （一同） 了承。 （豊福部会長） それでは先に進める。新たに書かれたコラムが3つある。ヘルスマイト（10ページ）、ソーシャルキャピタル（22ページ）、保健活動推進員（26ページ）について意見を伺いたい。 ソーシャルキャピタルについては村山委員に添削いただいた。何かコメントや意見はあるか。 （村山委員） 既に添削したため、内容については特に意見はない。ただ、ソーシャルキャピタルという言葉がここで初めて出てきて、以降も出てこないため、読み手にとって唐突感があると思った。 （豊福部会長） ソーシャルキャピタルの言葉について、内容を読めば分かるようになっているが、初めて出てくる言葉として補足説明等があった方が良いか。委員の意見を伺う。 （後藤委員） ソーシャルキャピタルについて取り上げるのは大変意味があることだと思う。ただし、ソーシャルキャピタルという言葉が市民が耳にしたとき、分かりやすい言葉なのかは気にかかる。ソーシャルキャピタルというより、「人と人とのつながり」と言った方が分かりやすい。 コラムの本文中ではソーシャルキャピタルという言葉を使いつつ、コラムのタイトルやコラム内のグラフのタイトルは「人と人とのつながり」とした方が分かりやすい。</p>

(赤松委員)

同意見。コラムのタイトルを「ソーシャルキャピタル・人と人とのつながりづくり」から「人と人とのつながりづくり・ソーシャルキャピタル」に変更しても良いかと思ったが、タイトル上はソーシャルキャピタルという文言を取っても良いかもしれない。

(豊福部会長)

それでは、ソーシャルキャピタルという言葉はタイトルではなく本文中に記載するとして、コラムやグラフのタイトルは「人と人とのつながりづくり」とするということで良いか。

(一同)

了承。

(豊福部会長)

田口委員、何か意見はあるか。

(田口委員)

ソーシャルキャピタルのコラムが運動分野の下に入っていることについて、何か意図はあるのか。

(事務局)

運動は楽しく、楽しみながら続けるという考え方。ウォーキングポイントでも「楽しみながら」がコンセプトであるため、「楽しみ」のつながりで運動の後に入れることにした。

(田口委員)

ソーシャルキャピタルのコラムの中に運動分野に係る内容というのが分かるような文章を加筆してはどうか。

(事務局)

ソーシャルキャピタルのコラムを入れる位置については悩んでいる。健康格差等の欄があれば、それが良いと思うが、第2期健康横浜21計画にはソーシャルキャピタルに関連することが書かれていない。そのためどこにコラムを入れても多少の唐突感は出てしまう。

コラムを入れる場所が決まったら、そこに適した書き出し文章を考えたい。

(田口委員)

運動継続には仲間づくりは大切。ソーシャルキャピタルのコラムを入れる箇所は運動の部分でも良いと思う。

(豊福部会長)

村山委員から意見はあるか。

(村山委員)

コラムが入る場所については、つながりになる文章が入っていればどこに入れても良いと思う。健康格差の方に入れようとする、地域ごとのソーシャルキャピタルについて考察する必要が出てくるため、このまま運動分野に入れるので良いのではないか。

(豊福部会長)

新型コロナウイルス感染症によって自粛やテレワークがあり、人と人とのつながりが低下していることも考えられる。運動によって人と人とのつながりが向上し、それが運動の継続にもつながるという考え方で、運動分野の後にソーシャルキャピタルのコラムを置くこととしてよいか。

(土屋委員)

ソーシャルキャピタルは健康日本21でもかなり注目されている。ソーシャルキャピタルが下がってしまった要因をどう考えているのか、横浜市として何を実施しているのか知りたい。

(事務局)

原因は分からないが、策定時の平成25年は東日本大震災があった時期と近いいため、このような「つながり」については関心が高く、良い数値となっていた。全国的にも同様の傾向にあると思う。

(豊福部会長)

ヘルスマイトのコラムについてはどうか。これで良いか。

(一同)

了承。

(豊福部会長)

保健活動推進委員に関するコラムについてはどうか。

(村山委員)

ヘルスマイトと保健活動推進員について、読み手が両者を知らない場合どのような違いがあるのか分からない。ヘルスマイトが全国的な組織であるのに対し、保健活動推進員は横浜市独自の組織であること等説明しても良いのではないか。また、それぞれがどのような活動をしているのか加筆してはどうか。

(豊福部会長)

26 ページにイラストが急にでてくることについてはどうか。

(長谷川委員)

イラストやヘルスマイトのシンボルマークはあって良いと思う。ヘルスマイトは活動を活発にしている。活動が具体的に分かるような写真が入ると良いのではないか。

(事務局)

保健活動推進員のコラムにはイラストがあるのに対し、ヘルスマイトのコラムにはイラストがないことについては気になっていた。写真を入れることを含めて検討したい。

(豊福部会長)

新たに書かれた「ライフステージ別」34 ページについて意見を伺いたい。いかがか。

(一同)

なし。

	<p>(豊福部会長) 田口委員いかがか。</p> <p>(田口委員) 特になし。</p> <p>(豊福部会長) 後藤委員いかがか。</p> <p>(後藤委員) 特になし。</p> <p>(豊福部会長) 特に皆さまからも意見はないということで、修正なしとさせていただくがよろしいか。</p> <p>(一同) 了承。</p> <p>(豊福部会長) 続いて、新たに書かれた「まとめ」40ページについていかがか。</p> <p>(田口委員) 41 ページにある表の下にあるパーセンテージはどのような意図があり、どのように解釈すればよいのか。</p> <p>(事務局) 特にこの数値から解釈できることはない。評価に直接関係はないが、分野別に目標設定数にばらつきがあったことが読み取れる。</p> <p>(田口委員) 意図がないのであれば、記載しない方が良いと思う。</p> <p>(赤松委員) 下2行はなくて良いと思う。</p> <p>(豊福部会長) 資料編42ページ以降について、いかがか。</p> <p>(瀬戸委員) 45ページ以降の行政区ごとの特性について、グラフによって差が分かりづらい。グラフ縦軸の数値を変えて分かりやすくするのはどうか。 また、グラフの各項目に目標値が記載されていた方が、目標値に現在どれだけ近づいているのか分かりやすい。</p> <p>(事務局) 目標値の記載は実施する。 縦軸の数値を変えることについて、数値が0%から記載されていないグラフは適切ではないと指摘を受けたことがあり、すべて0%からの記載としている。数値変化にクローズアップできるよう、グラフ下部を波線にする形式をとって良いものか、後藤委員に意見をいただけるか。</p> <p>(後藤委員)</p>
--	---

客観的にデータを見るためには、0%から記載しているグラフが良い。数値変化をアピールするために、グラフ下部を波線にするような形式をとっているグラフも見受けられるが、全体で見ると数値変化がほとんどない等、適切でない指摘される対象となる。現状の0%から記載するグラフのままが良いと思う。

(瀬戸委員)

了承。

(村山委員)

行政区ごとの特性のグラフについて、アスタリスクは各区の経年変化に有意差があったということか。

(事務局)

平成25年と令和2年の変化について、有意差を示したものである。

(村山委員)

それが良いか悪いかは置いておいて、アスタリスクをつけるのであれば、その説明は必要。

(事務局)

その通り。対応する。

(後藤委員)

これだけ多くの評価対象に対してp値を計算していると、たまたまp値が低くても多くあると考えられる。統計的な観点から考えると、アスタリスクは記載せず、グラフの増減を見てもらう方が良い。

(村山委員)

p値に興味を示す人はそれほど多くないと考えられること、策定時と直近値の検定となると、中間評価時の値を示す必要がなくなってしまうため、アスタリスクはとって、平成25年、28年、令和2年と3本のグラフが並んでいる方が良いと思う。

(土屋委員)

横浜市が全国と比べてどうなのかもわかった方が良い。特定健診の受診率等入れられるものだけでも入れてはどうか。

(事務局)

すべての調査について比較できる全国値等があれば良いが、難しい。全国値を入れられるものだけ入れて、入れられないものは入っていないのはどうかと思う。

(土屋委員)

特定健診の受診率だけでも入れれば良いと思った。

(事務局)

行政区ごとの特性部分ではなく、分野別の特定健診考察部分で、全国等と比較して横浜市の受診率の高低が分かるようにしたい。

(豊福部会長)

比較対象は全国、政令市、県内とどれにするのかも検討が必要。区ごとのグラフはこのままで、特定健診の分野で他自治体との比較について検討するので良い

か。

(土屋委員)

了承。

(豊福部会長)

棒グラフがただ羅列されていることについてどうか。グラフの読み取りが難しいとも感じる。男女差が必要なのか、全体だけで見るので良いかいかがか。

(後藤委員)

グラフをどのように使用するのかの目的によるが、18 区のデータと市全体の経年変化を示しているの、傾向の読み取りが難しい。また、各区のデータを提示しているが、同じ対象の追跡調査ではない上、各区の男女と考えると調査対象査数は少なく、その区を代表する数値であるとは言えない。行政区別に分けて経年変化を示す必要はあるのか。市全体だけでも良いのではないか。

(事務局)

特にこの資料に掲載の必要があるわけではない。見やすく読み取れるように整えたい。

(赤松委員)

行政区別のデータは知りたい人もいるのではないか。3本並んでいるグラフを策定時と直近値の2本にするだけでもかなりすっきり見える。

また良い悪いがはっきりと出てしまうため推奨はしないが、今は50音順となっている区名を、ランキング形式で並び替えるという方法もある。

(佐藤委員)

最終評価報告書をメインでみるのは誰か。

(事務局)

一番見てもらいたいのは市民である。市民に分かりやすくする必要があると思っている。

(佐藤委員)

市民意識調査の概要や調査対象者数は示した方が良い。

80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合の調査について、ただ歯がある状況でカウントするのか、噛むことができる歯があるという考えなのかどちらか。

4月からの診療報酬の改定で口腔機能低下症の検査対象が65歳から50歳に下げられた。このことから国としてオーラルフレイルに力を入れようとしているのが分かる。

報告書なのである程度は仕方ないが、一方的な報告ではなくこれを見た市民が自身の行動を変えられるような訴求性があるものになると良い。

(豊福部会長)

ここまでの話をまとめる。行政区別の棒グラフについては、いただいた意見をもとに事務局で再考するという事で良いか。

(事務局)

32 ページではランキング形式で行政区を並び替えている。行政区別の特徴のグ

ラフについても、現状のまま 50 音順なのか、ランキング形式なのかご指示いただきたい。

(佐藤委員)

所属している区歯科医師会長として活動する際には、区別グラフがランキング形式となっていると、参考にしやすい。

(赤松委員)

区名をランキング形式で並び替えるとする、何を目的とするかを検討しなければならない。区ごとの経年変化を 2～3 本のグラフで載せるのなら、区ごとの経年変化の差を順位にする。直近値である令和 2 年度の順位ならば、グラフは令和 2 年度の 1 本で良い。

(後藤委員)

ある年を取りだしてランキング形式で区を並べるのは、この調査対象者数でもある程度代表性があると考えても良い。しかし、経年変化の差をランキング形式にすると、特定の対象者を追った調査でもなく、対象者数も少ないため経年変化の差が偶然の差ではないことを否定できず、妥当ではない。特に区別の男女別などは経年変化をランキング形式で並べることは避けた方が良い。

経年変化の差をランキング形式としたいのであれば、同じ集団の変化を追うか、もっと対象者数が多い大規模な調査を実施して、その対象者を区の標準と考える等調査対象者の抽出方法から検討しなければならない。

(豊福部会長)

意見が分かれている所ではあるが、ランキング形式で出すことについて、統計的な懸念もあるため、資料編についてはこのまま 50 音順で掲載し、グラフをより分かりやすくするように再考するので良いか。

(村山委員)

行政区ごとのデータは市民としては見たいのではないかと思うため、行政区ごとのデータは掲載すべきと考える。また、各区どのような変化があったのかについても気になるのではないか。グラフはシンプルにして、細かな数値については表をつけるというような形式をとるのはいかがか。

(豊福部会長)

助言をもと事務局で再考していただくようお願いする。ここからは全体を通して各委員に意見をいただきたい。佐藤委員からお願いする。

(佐藤委員)

市民がこの報告書を見て自身の生活習慣等を見直し、何か行動しようと思ってもらえるようにすべき。行政や専門家サイドの報告書にならず、誰にでも分かりやすいものであるべき。P40 のまとめ内容が寂しすぎるので、再度検討していただきたい。

(瀬戸委員)

市民に分かりやすいような報告書にするのであれば、もっとイラストや図を増やす等、視覚に訴えるようなものがあると良い。コラムは気づきがある。増やして

も良いと感じた。

(田口委員)

分野別という言葉がいきなり出てきて分かりづらい。分野とライフステージの構成を最初にどのような区分けなのかという説明を丁寧にしてもらえると良いと思った。COPD等の疾病名や略語についても説明があると良い。

また、女性の健診の受診率低下や健康寿命延伸の鈍化といった、女性の健康についての課題が目立つが、次期計画につなげていけるデータや考察を示せると良い。健診データについての考察等に今後強化すべきこと等の記載があると良いのではないか。

(長谷川委員)

40 ページのまとめについて、字が多くて読みづらい。読みやすくするために記載する順番を分野別の順番と同じにしたり、もう少しシンプルにしたりしても良いのではないか。41 ページの表について、先ほど下2行をカットするという話が出ていたが、下から2行目の分野ごとの行動目標の数は、行動目標数という項目に変更し、示した方が良いと思う。

ソーシャルキャピタルについて低下しているのは悲しい。低下した理由の考察と前向きに捉えられるようなコメントが欲しい。

(赤松委員)

次期計画策定の際には、評価するときのこともよく考えて策定する必要がある。

(後藤委員)

前回よりもコラムや評価方法の変更など良いものになった。報告書に入っているデータはすべて既に公開されているものであるため、報告書にすべて詰め込む必要はない。出典を示した上で、ハイライトを報告書に掲載できれば良いと思う。野菜や食塩の分布についても掲載し、目標を達成できている人も一定数いるものの、そうでない人もおり、全体として目標到達に至っていないということを記述できると良いのではないか。

(土屋委員)

40 ページのまとめはとても重要な部分。1 ページに収まらなくても、市民にとって分かりやすいものにして欲しい。

資料編の行政区ごとの特性については、全国との比較を入れると良いのではとコメントしたが、現状の地区ごとの記載が良い。

(村山委員)

ライフステージについて、「育ち・学び」「働き・子育て」「稔り」となっているが、今は高齢者も学び働く時代であるため、表現がひと昔前のものであると感じた。今回は仕方がないが、次回からは「成人期」「高齢期」などとし、これまでのライフステージの表現は使用を避けた方が良い。

また、40 ページのまとめはこの報告書で一番大事な部分。サマリーなら分野ごとに項目だてて記載する方が良い。サマリーになっておらず、各分野別の部分に書かれていることの繰り返しなら不要。第2期健康横浜21全体を通しての課題

	<p>や今後次期計画での展望をこのまとめの部分でメッセージを示して欲しい。 また、社会環境的な要因が抜けていることについては、今の時代の健康づくりとして考えると物足りない。今後はソーシャルキャピタルについても考えていく必要があるし、18 区のデータを示すのであれば、区別の格差等についてもどのようにしていきたいのか考え方や方向性を示すべき。</p> <p>(豊福部会長)</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。事務局から補足や確認したいことはあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>なし。</p> <p>(豊福部会長)</p> <p>意見交換を終了する。今日の意見を踏まえて調整していただき、3月28日の健康横浜21推進会議を経て、固めていくようお願いする。本日の議事は終了したので、進行を事務局に返す。</p>
その他	<p>【その他】第2期最終評価・第3期計画策定スケジュールについて ＜資料5＞ 事務局から資料5について説明</p>
	<p>閉会 (事務局)</p> <p>3月28日に親会議の健康横浜21推進会議で最終評価についてご審議いただき、4月以降に公表の予定。評価策定部会の委員に再度検討していただくようなことが生じた場合は別途御相談させていただく可能性がある。いずれにしても、最終的な報告書案については報告する。</p> <p>次年度は策定作業を本格化させ、部会は3回ほど予定している。スケジュールについては、また相談する。なお、後藤委員には、計画策定にあたっての健康課題の抽出について、横浜市立大学と本市とのデータ活用に関する包括連携協定に基づいて、専門的なお立場からサポートしていただくことになった。この場を借りて御礼申し上げます。</p> <p>これにて閉会とする。ありがとうございました。</p>